

別紙様式

令和5年度 学校評価自己評価表

a ミッション	<p><校訓> 「挑戦と創造」 学び深く 志高く 未来を拓く</p>	<p>a ビジョン <学校教育目標> 「未来を拓き、たくましく生きる子どもの育成」 【めざす 学校像】 地域と共に歩む学校 人が育ち信頼される学校・・・「学校が好き」「地域が好き」 【めざす子ども像】 夢や志をもち、自ら挑戦する子ども・・・「挨拶する子・探究する子・協働する子」 【めざす教職員像】 自らを磨く教職員・・・「確かな授業力」「新たな事に挑戦・創造」「協働」 【めざす 授業像】 自ら学ぶ・学びを広げる・・・「わくわく」「わかった」「もっとやりたい」</p>	<p>(子ども達に育てたい資質・能力) 「自発性」 「コミュニケーション能力」</p>	<p>世羅町立せらひがし小学校</p>
---------	--	---	--	---------------------

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画		
b 中期経営目標 (3年目/3年計画)	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
					g 達成値	g 達成値				イ	ロ	ハ		
確かな学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に学ぶ児童を育成し、学力を高める。 コミュニケーション能力を高め、自発的に他者と協働して課題解決を図る児童を育成する。 コミュニケーション能力を高め、自発的に課題解決を図る児童を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 100マス計算や漢字のドリル学習等を行い、基礎学力の定着を図る。 授業の中で、活用能力を高める指導を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 標準学力テストで評定2以上の児童の割合 	80%										
		<ul style="list-style-type: none"> プロジェクト型学習を取り入れた探究的な学習を行う。 ICTを活用した授業改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 探究的な学習の授業改善を行っている教員の割合 ICT機器を活用して思考を深めることができた肯定的に評価している児童の割合 	100%	90%									
豊かな心の育成	<ul style="list-style-type: none"> 自他を大切にできる行動・心磨きができる児童を育てる。 自分の良さに気づき、新たな目標に向かう児童を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童会を中心にGO5せらひがしっ子の推進をする。 ①自分から元気よく挨拶をしよう。 ②ろうかは右側を静かに歩こう。 ③トイレのスリッパをそろえよう。 ④5分前行動・ベル着をしよう。 ⑤自分や人のよいところやがん。 	<ul style="list-style-type: none"> GO5せらひがしっ子の児童アンケートで肯定的に評価している児童の割合 	80%										
		<ul style="list-style-type: none"> 児童の良さや成長を記録する取組を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自分や友達の良いところを見つけることができる」と肯定的に評価している児童の割合 	80%										
確やかな体の育成	<ul style="list-style-type: none"> 自ら課題意識を持ち、走力を鍛える。 課題意識を持って、健康な体を育成する。 基本的生活習慣を定着させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝会や体育の授業等で、走力向上の取組を行う。(各学年で月一回の計測を行い、目標タイムを把握して取り組む。) 	<ul style="list-style-type: none"> 「50m走」の数値が県平均を超える児童の割合 	70%										
		<ul style="list-style-type: none"> 月1回の「生活見つけなおし習慣」の取組を推進する。 生活見つけ直しの全項目で満点の児童には賞状を発行する。 	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の生活見つけ直し週間で、「寝る前にメディアにふれない。※1～3年20時半まで、4～6年21時まで」5点以上の児童の割合(5点満点) 	70%										
特色のある学校	<ul style="list-style-type: none"> CSを生かし、学校と地域とがwinwinの関係性をもった継続性のある取組を進める。 地域と共に開かれた学校を創造する 	<ul style="list-style-type: none"> 地域と連携・協働するために、情報交換を行いながら、学校教育活動に参画してもらおう。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の物的・人的資源を生かした教育活動を年間20回以上行う。 	100%										
		<ul style="list-style-type: none"> 地域との協働活動を年間2回以上行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域との協働活動を年間2回以上行う。 	100%										

【自己評価 評価】
A: 100≦(目標達成)
C: 60≦(もう少し) < 80
B: 80≦(ほぼ達成) < 100
D: (できていない) < 60

【学校関係者評価】 イ: 自己評価は適正である。ロ: 自己評価は適正でない。ハ: わからない。